

第 1 学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 きまりの意義を理解し規律ある社会を
- 2 内容項目 C 順法精神・公德心
- 3 資料名 「二通の手紙」
※『私たちの道徳』140 ページ～145 ページ

4 ねらい（視点）

法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めようとする道徳的心情を育てる。

5 本時の展開

時	主な学習内容・活動	評価・留意点
導入	1 本日のテーマの確認をする。 ○身の回りには、どのような「きまりや規則」があり、どうしてあるのか。 ・校則 法律 理由→安全 困らないように	□時間をかけずに、答えを求めない程度にとどめておく。
展開	2 資料を読む。 ・資料（冊子）の配付・説明後、教師が範読する。 3 元さんの判断について共感的にとらえる。 ○元さんはどのような人物だったか。 ・勤勉で真面目 ○元さんはどのような思いで姉弟を入園させたのか。 ・弟の誕生日の思い出に ・気持ちに込めたい ○動物園のきまり（入園終了時刻、保護者同伴）を破ってまで入れたのは、なぜか。 ・まだ客もいるし、職員もいるし大丈夫だろう。 4 姉弟の安否の連絡を待つ元さんの気持ちをとらえる。 ○元さんは祈るような気持ちで連絡を待っていた時、どのようなことを考えていたか。 ・大変なことになってしまった。 ・早く無事に見つかってほしい。 ・動物園のみんなに迷惑をかけてしまってすまない。 5 母親からの手紙について確認する。 ○「母親からの手紙」をもらった時の元さんは、どのような気持ちだったか。 ・無事でよかった ・喜んでもらえてよかった 6 懲戒処分通告書について確認する ○「懲戒処分通告書」を渡された元さんは、どのような気持ちだったか。 ・規則を破ったので仕方ない ・後悔 7 元さんが 2 通の手紙を並べて考えたことをとらえる。 【中心発問】元さんが、「この年になって初めて考えさせられたこと」とは、どんなことだろうか。 ・規則を破ることが、2 人の命の危険に関わることに気付かず、感情に流されて規則を破ったということは、大きな間違いだったこと。 ・きまりを遵守した上で、幼い子どもたちを思いやり、幸せにすることがこれからの自分の課題であること。 ・入園者のためにした行為だったが、実はきまりを守ることこそが、入園者のことをよく考えて作られているものだったこと。 ○身の回りにある「きまりや規則」は、どうしてあるのか。	□冊子を 1 ページずつ進めながら、場面ごとに登場人物の心情を丁寧に把握させる。 □元さんが規則を守らなければいけないことと、姉弟の願いをかなえてあげたいという気持ちとで葛藤していることをおさえる。 □自分のしたことを後悔しながら、2 人のことを心配している元さんの気持ちを理解させる。 □自分の考えと比較させながら元さんの心情につなげる。 □個々で考えた後、4 人 1 グループのユニットで交流する。その後、全体で考える。 【補助発問】 ○姉弟に事故が起きていたら、母親からどんな手紙が届いていたか。 ○姉弟を思いやって規則を破ったが、姉弟に対する本当の思いやりとは何か。
終末	8 振り返り ○授業を通して感じたこと、考えたことについて資料（ワークシート）にまとめよう。	□日常生活と結びつけて考えられるように声掛けする。 □資料の記述から、中心発問に対する考えの深まりや広がりを通してとらえる。